

▼申請時は活動計画書に○をつけて下さい。

第1号様式（PR助成・スモールスタート助成・組織基盤強化助成用）

**活動計画書** / **活動実施計画書**

団体名： ○○まちづくりの会

## 1 組織の現況、課題

- ▶組織の現状と課題認識を記入してください。
- ▶何がどのように課題なのか、なぜ課題となっているのか、などが分かるよう、具体的に記入してください。
- ▶本計画書「2 活動の将来的・最終的な目的」～「4 助成を受けようとする活動内容」との整合が取れるよう記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性の視点

## 2 助成を受けようとする活動の目的

- ▶助成を受けようとする活動を実施する目的を具体的に記入してください。
- ▶本計画書「1 組織の現況、課題」を踏まえて記入することに心がけてください。
- ▶今回助成を受けようとする活動が、自発的・自立的な市街地の形成・維持・改善および活用にどのようにつながるのか、または直接的につながらない場合は、将来的にどのようにつながるのかを記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性・適合性の視点

## 3 活動による今年度の成果目標

- ▶助成を受けようとする活動の実施による今年度末時点での成果目標・到達点を記入してください。
- ▶数量などで示せる目標が望ましいですが、必ずしもそうである必要はありません。
- ▶本計画書「7 活動後、次年度以降の展望」につながるような目標設定に心がけてください。

【この欄に対応する主な評価視点】 発展性の視点

## 4 助成を受けようとする今年度の活動内容

- ▶助成を受けようとする活動内容を具体的に記入してください。
- ▶申請書に記入された活動の項目ごとの内容がわかるように記入してください。
- ▶今回助成を受けようとする活動が、自発的・自立的な市街地の形成・維持・改善および活用にどのようにつながるのか、または直接的につながらない場合は、将来的にどのようにつながるのかを記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 必要性・適合性の視点

## 5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ▶活動を行うために必要な協力・調整の相手方とその理由を記入してください。
- ▶現在の協力・調整の状況や、どのように協力体制を築いていくかなども、あわせて記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 実現性の視点

## 6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
R●年○月	<p>.....▶今年度の助成対象活動に関するスケジュールを記入してください。</p>
○月	<p>.....</p> <p>【この欄に対応する主な評価視点】 実現性の視点</p>
○月	<p>.....</p> <p>.....</p>

## 7 活動後、次年度以降の展望

- ▶今年度の助成対象活動が完了した後、次年度以降の活動等の展望を記入してください。
- ▶助成対象活動が今後のどのように活かされるのかが分かるように記入してください。

【この欄に対応する主な評価視点】 発展性の視点

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※各記入欄において、【この欄に対応する主な評価視点】を参考に示しておりますが、助成メニューの視点など、全体を通して評価を行う視点もあります。

※ この様式は公開されます。